

任期 (四月三十日まで) を終えて

勇退された議員の紹介をします。

権田直良 平成三年四月初当選以後四期当選

主な議員歴 総務文教委員会委員長

仁木豊司 平成七年四月初当選以後三期当選

主な議員歴 監査委員

山本睦夫 平成三年四月初当選以後四期当選

主な議員歴 副議長

三月議会に提出された請願の審査結果について

● 津山広域都市計画道路「総社川崎線」事業の早期実施に関する請願 ↓採択

● WTO・FTA交渉等に関する請願書 ↓採択

● 津山駅周辺地区のまちづくり推進に対する請願書 ↓採択

● 中学校卒業までの子どもの医療費の無料化を求める請願書 ↓不採択

三月二十二日の本会議最終日に行われた三つの特別委員会中間報告(抜粋)を紹介します。空港津山道路等調査特別委員会

当特別委員会は、空港津山道路の早期整備、また本市にかかわる幹線道路を対象に調査研究を行っている。特に空港津山道路は、全線のルート選定がなされていないことから、岡山国道事務所の方と意見交換するなど、積極的に要望活動等を行ってきた。しかし、未だ全体像が示されず、全体に供用開始は不可欠であるため、今後更に調査研究が必要であることを確認したところである。

広域行政調査特別委員会

当委員会は、JR津山線について、JR西日本岡山支社へ、「抜本的かつ恒久的な安全対策」を求めて申し入れを行った。また、「新ごみ処理センター建設」について調査研究してきた。適地選定は四月以降に決定されることとなり、現施設の使用期限からも、今後一層のごみ減量化・資源化を図り、処理費の減少に努め、新ごみ処理センターの早期建設を目指さなくてはならない。

まちづくり調査特別委員会

地域の一体感の醸成は急務である。まつりやイベント等の事業実施にあたっては、地域が主体であるとの視点に立ち、地域の特色を残す、各種実行委員会への補助金のあり方や、事業の特化、観光ポイントの積極的な情報発信、また団体間・地域間情報の共有化など、ソフト面での関わり方も含めた、幅広い角度から検討し、取り組んでいただきたい。

表紙写真の説明

今回は田邑幼稚園と大崎幼稚園を撮影に行きました。田邑幼稚園に通園している児童(園児)は六人で二クラス編成となっています。園の目標は、「豊かな心をもって生き生きと活動する子どもを育てる」で、「家庭との連携を深めながら、基本的生活習慣や態度を身につけさせ、心身ともに健康な子どもを育てる」ことなどを指導の重点とされています。大崎幼稚園に通園している児童(園児)は三十三人で、二クラス編成です。園の目標は、「心身ともにたくましく、人間性豊かな子どもを育てる」で「個に応じた指導や友達とのかかわりを大切にしながら、意欲的に遊びに取り組みむ幼児を育てる」ことなどを指導の重点にされています。園名は合成写真です。



議員の任期が切れ、四年ごとの「市議会の改選」が行われる関係で、古い時期の「本会議の模様」を、新しい議会になってお届けする「三月議会だより」も編集を終えました。

一般質問には、三十一人がたち、三人の勇退する議員も、最後の質問に立ちました。「立つ鳥、跡をにごさず」と津山市の将来を案じながらも、それぞれの議員が、任期中お世話になった御礼をかねての質問でした。

再開発 (アルネ) 事業に関する調査特別委員会の「最終報告」も行われ、三年三ヶ月の「調査活動」に終止符も打たれました。この件については、四月の「広報つやま」とともに特別編集でお届けしています。

市議会全体も、編集・広報委員会も四年間お世話になりましたことを御礼申し上げ、今後ともよろしくお願ひしますと申し上げて、任期最後の「編集後記」とします。(末)

編集委員として四年間、大変お世話になりました。市民の方々の声や街づくりの様子をお知らせする事の難しさを感じつつ、この次こそはと願う今日この頃です。(讀) 何もわからず、手探りの状態で頑張ってきました。月日が流れ、二年、三年、そして、十二年。長いようで短いようでもありました。三期十二年間、本当にありがとうございました。(豊)

議員さんの原稿集めを毎回お手伝いさせてもらい、各議員さんの「無くて土癖」のようなものを感じますが、人それぞれでしょうか。・・・。(事務局O)

広報調査特別委員会メンバー

- ◎ 末永弘之 ◎ 吉田耕造
勝山 修、齋藤弘道、高橋 誠
竹内靖人、仁木豊司